



AWS Black Belt Online Seminar

AWS 認定取得に向けて

アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社
トレーニングサービス本部

Training Program Manager 石上 浩

2018.6.6



自己紹介

名前：

石上 浩（いしがみ ひろし）

所属：

アマゾンウェブサービスジャパン株式会社
トレーニングサービス本部
トレーニングプログラムマネージャー

担当：

パートナー様向け AWS トレーニング、認定プログラム 等の
企画、提供



内容についての注意点

- 本資料では2018年6月6日時点のサービス内容および価格についてご説明しています。最新の情報はAWS公式ウェブサイト(<http://aws.amazon.com>)にてご確認ください。
- 資料作成には十分注意しておりますが、資料内の価格とAWS公式ウェブサイト記載の価格に相違があった場合、AWS公式ウェブサイトの価格を優先とさせていただきます。
- 価格は税抜表記となっています。日本居住者のお客様が東京リージョンを使用する場合、別途消費税をご請求させていただきます。
- AWS does not offer binding price quotes. AWS pricing is publicly available and is subject to change in accordance with the AWS Customer Agreement available at <http://aws.amazon.com/agreement/>. Any pricing information included in this document is provided only as an estimate of usage charges for AWS services based on certain information that you have provided. Monthly charges will be based on your actual use of AWS services, and may vary from the estimates provided.

本セミナーの概要

本セミナーの目的

- AWS認定プログラムのご紹介
- AWS認定のための資格試験体系のご紹介
- 認定取得に向けた準備作業（リソース）例のご紹介

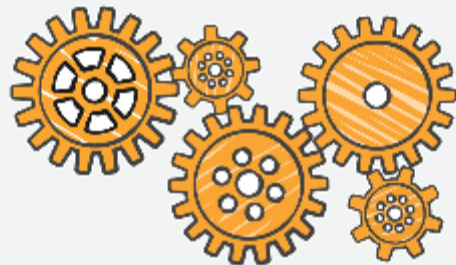
対象の方

- AWS 初心者の方、AWS 認定試験をはじめて受験する方

本資料をガイドとし、AWS 認定取得、認定取得準備、または AWS への取り掛かりをスムーズに進めていただけますと幸いです

Agenda

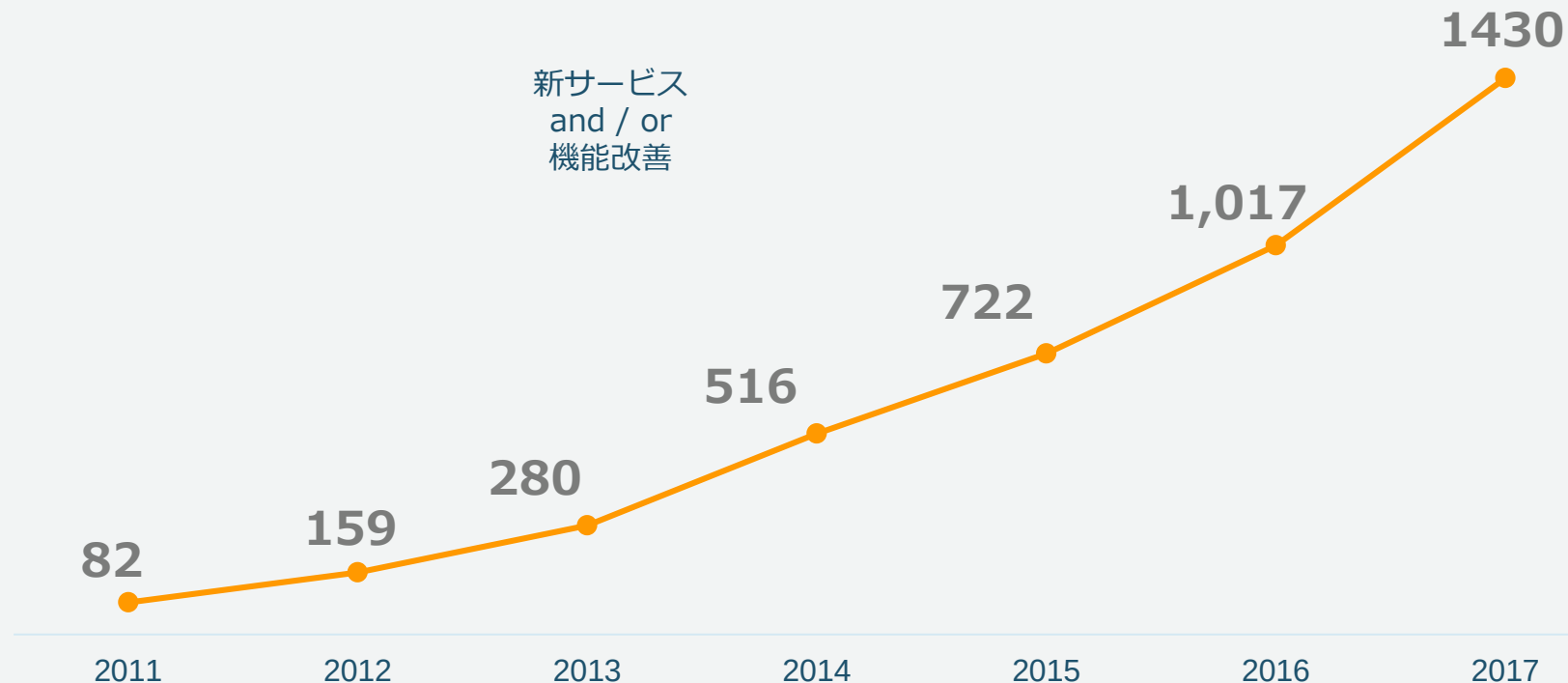
- イン트로ダクション
- AWS 認定プログラムについて
- 試験内容について
- 試験準備
- その他リファレンス



イントロダクション

**企業のクラウド移行が加速するにつれ
AWS のイノベーションは
これまで以上に加速しています**

AWS のイノベーションペース



AWS東京リー
ジョン開設

AWS 認定とは

AWS 認定とは
AWS サービスに関する
知識とスキルを有していること
を証明するもの

AWS認定取得のメリット



エキスパートで あることの証明

- ✓ 技術的スキルと専門知識を証明
- ✓ キャリアアップへの一助に



人材の見極め

- ✓ AWSのクラウド知識保有者の採用に



特典

- ✓ 認定ラウンジの利用
- ✓ 無料の模擬試験
- ✓ デジタルバッジ & ロゴの使用

<https://aws.amazon.com/certification/>

認定取得の特典一覧



AWS 認定グローバルコミュニティ
AWS 認定 LinkedIn コミュニティに参加可能



AWSイベントでの特典
AWS re:Invent およびAWS Summit において
AWS 認定ラウンジや認定パーティに参加可能



公式 AWS 認定ロゴの使用
AWS 認定ロゴを使用して、取得した
認定を証明



デジタルバッジ
ソーシャルメディアサイトやEメールの署名に自分の
デジタルバッジを使用することが可能（共有したデ
ジタルバッジを第三者がクリックするとそのバッジの
保持者の認定資格情報を確認可能）



模擬試験
無料の模擬試験を使用して次回の
AWS 認定に向けて準備



AWS 認定ストア
AWS 認定の特別商品を購入可能
取得した認定が増えるほど、購入できる製品が増加

資格取得者のコメント

“AWS 認定資格は、社内で
技術的な信頼を確立する
のに役立ちました。”

– Todd Murchison
Cloud Operations Engineer, Adobe
Systems

“会社は今、私のことを
その分野のエキスパート
として認識しています。
同僚には頻繁に、クラウドソリュー
ションについて相談されます。”

– Deepak Panth
Architect, Accenture

- 社員のスキル可視化
- 従業員の能力・知識レベルの底上げと水準の証明
- トレーニングの効果測定とエンジニアのブランディング

AWS 認定プログラムについて

AWS 認定の種類 – 役割

アーキテクト

ソリューションアーキテクト、
AWS でのアプリケーションやシス
テムの設計者向け

ディベロッパー

AWS でのクラウドアプリ
ケーションを開発するソフ
トウェア開発者向け

オペレーション

SysOps アドミニストレーター、
AWS プラットフォームでのシス
テムおよびアプリケーションデブ
ロイ担当者向け



プラクティショナー

AWS クラウドについての全体的な理解を持ち、
プロフェッショナルとしてクラウドビジネスに携わる担当者向け

AWS 認定の種類 – レベル



プラクティショナー

AWSクラウドの全体的な理解を証明



プロフェッショナル

最高レベルの技術的役割ベース認定。応用レベルのAWS知識と高度なスキルを証明



アソシエイト

技術的役割ベース認定。基礎レベルのAWS知識とスキルを証明



専門知識

特定の技術分野での高度なスキルを証明

アソシエイトレベルでは、顧客要件に対しAWSのベストプラクティスを用いたソリューションを展開できることが求められます。

プロフェッショナルレベルでは、さらに高度な知識を有したソリューション展開と、各役割での2年以上の実務経験が望まれます。

AWS 認定の体系

aws  CERTIFIED

プロフェッショナル

✓ AWS認定
ソリューションアーキテクト
- プロフェッショナル

✓ AWS認定
DevOps エンジニア
- プロフェッショナル

✓ AWS認定
DevOps エンジニア
- プロフェッショナル

アソシエイト

✓ AWS認定
ソリューションアーキテクト
- アソシエイト

✓ AWS認定
デベロッパー
- アソシエイト

✓ AWS認定
SysOpsアドミニストレーター
- アソシエイト

ベーシック

✓ AWS認定
クラウドプラクティショナー



クラウドプラクティショナー

✓ AWS認定
クラウドプラクティショナー
オプション



アーキテクト

✓ AWS認定
クラウドプラクティショナー
オプション



開発者

✓ AWS認定
クラウドプラクティショナー
オプション



運用担当者

役割別認定

専門知識認定



✓ AWS認定
高度なネットワーキング
- 専門知識



✓ AWS認定
ビッグデータ
- 専門知識



✓ AWS認定
セキュリティ
- 専門知識

専門知識認定の受験には、クラウドプラクティショナーもしくは、アソシエイトレベルの認定が必要です。

認定試験の要件

- 認定要件
 - 各レベルの試験に合格すること
 - 「プロフェッショナル」認定には「アソシエイト」認定が必要
 - 「専門知識」認定には「アソシエイト」または「プラクティショナー」認定が必要
- 試験受験料（領収書は認定試験申し込みページより受領可能）
 - プラクティショナー **11,880 円** (税込)
 - アソシエイト **16,200 円** (税込)
 - プロフェッショナル、専門知識 **32,400 円** (税込)
- 試験時間
 - プラクティショナー **90 分間**
 - アソシエイト **80 分間**（新版 130分 8/12以降は新版のみ）
 - プロフェッショナル、専門知識 **170 分間**

試験申し込み手順

1. [AWS Training and Certification Portal (<https://www.aws.training/>)] へアクセスします
2. 言語を [日本語] に変更し、[サインイン] をクリックします



3. 一般ユーザーの方は「サインイン」、APN パートナーの方は「APN ポータル経由でサインイン」に進みます

一般ユーザーの方

amazon.co.jp のサインイン情報を使用します。アカウントをお持ちでない方は以下「アカウント&リスト」の「新規登録はこちら」より作成してください。

<https://www.amazon.co.jp/>

Amazon.co.jp

ここをクリックしてサインインするか、Amazon.co.jp でアカウントを作成します。

サインイン

APN パートナーの方

AWS Partner Network(APN) ポータル用のアカウントでサインインしてください。

APN パートナー

APN パートナーの方は、ここをクリックし、APN ポータルの認証情報を使用してパートナートレーニングにアクセスしてください。

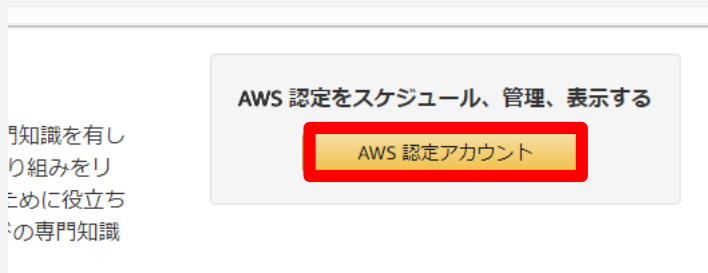
APN ポータル経由で
サインイン



4. [認定にアクセスする] リンクをクリックして認定サイトへアクセスします。



5. 「AWS認定アカウント」ボタンをクリックして、試験の管理画面に進みます。



AWS認定アカウントをお持ちでない場合は、下記画面に遷移しますので、ここで「新しいAWS認定アカウントを作成するには、ここをクリックしてください。」ボタンをクリックしてアカウントを作成します。

AWS認定アカウントは、認定プログラムのための専用アカウントです。作成後は、「AWS トレーニングと認定」サイトからのSSOとなります。

6. 「新しい試験の予約」ボタンをクリックして日程選択画面に進みます。

AWS認定アカウント

試験スケジュールの設定や認定特典の取得など、AWS 認定を集中管理するためのツールとして AWS 認証アカウントを使用できます。

ここから始める

[新しい試験の予約] をクリックして、認定試験または模擬試験を予約します。

新しい試験の予約

PSI 試験の管理

Webassessor試験の管理

7. 受験する試験の種類のボックスにある「日程の決定」ボタンをクリックし、次の画面で試験で使用する「言語」をドロップダウンリストから選択します。

☺ 日程を決める準備ができました

AWS Certified Solutions Architect - Associate (Released February 2018) - 日程を決める準備ができました

日程の決定

詳細の表示

AWS Certified Solutions Architect - Associate (Released February 2018)

☒ AWS Certified Solutions Architect - Associate (Released February 2018) (130 minutes)

言語を選択する

試験で使用する言語を選択し

--Select--
--Select--
English
Japanese

8. 「受験会場の検索」ボックスで検索条件を指定すると、付近の会場が検索結果として一覧表示されますので、希望する会場を選択します。

受験会場の検索

国
Japan

タイムゾーン
Asia/Tokyo

市/郵便番号の入力
1 Chome-8-1 Shimomeguro, Meguro-ku, Tokyo-to 153-0064, Japan

希望する月
July 2018

テストセンターの検索



テストセンターの住所 距離 受験可能な最初の日

- 東京 - テンプル大学ジャパン (AMP) (WBD)
〒106-0047 東京都港区南麻布2-8-12 テンプル大学ジャパン
テストセンター3F 東京 日本 105-0047 1.66 miles 05 July 2018
- 東京 - Success Spspace (NT) キオスク 1
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-6-19 第1矢木ビル5F
B
渋谷テストセンター 渋谷区 東京 日本 150-0002 1.92 miles 02 July 2018
- 東京 - サクセススペース (NT) キオスク 2
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-6-19 第1矢木ビル5F B 1.92 miles 02 July 2018

9. 日時・時間を選択して、「続行」ボタンをクリックします。

2. 東京 - Success Spsace (NT) キオスク 1 

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-6-19 第1矢木ビル5F 1.92 miles 02 July 2018 

B
渋谷テストセンター 渋谷区 東京 日本 150-0002

< July 2018 >

Su	Mo	Tu	We	Th	Fr	Sa
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

利用可能な開始時間 02 July 2018

10:00 AM 02:30 PM

 利用可能な日  選択した日付

(*) 試験の種類によって、受験のできる会場、
受験可能日時・時間帯は異なります。

キャンセル

続行

10. 申し込み内容を確認後「続行」ボタンをクリックすると合計支払額が表示されますので「利用条件」のチェックボックスをチェックして、クレジットカード情報を入力後「すぐに支払う」ボタンをクリックして申し込み完了です。

日程詳細を確認し次に進む

AWS Certified Solutions Architect - Associate (Released February 2018)

テストセンター	予定日	開始時刻	試験時間
東京 - Success Space (NT)	Jul 02, 2018	10:00 AM	130 Minutes
キオスク1		(タイムゾーン: Asia/Tokyo)	
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-6-19			
第1丸ビル5F B 渋谷テストセンター			
東京, 日本 150-0002			

変更 続行

試験日程の決定

支払い

AWS Certified Solutions Architect - Associate (Released February 2018)

国	日本	通貨	JPY
AWS Certified Solutions Architect - Associate (Released February 2018) (130 minutes)			
料金			
Exam Fee		JPY 15000	
合計支払い額		JPY 15000	

支払いの概要

支払い金額の合計	JPY 15000
付加価値税	+ JPY 1200
残額	JPY 16200

☒ は、添付されたすべての情報および契約を読み、理解したことを認め、これらを遵守し、これらに拘束する
と同意します [利用条件](#)

戻る 消去します **すぐに支払う**

申し込み後の日程変更・キャンセル手順



1. <https://www.aws.training/> へアクセスします。
2. ページ上部の、[認定] リンクをクリックし、認定ポータルにログインします。
(エンドユーザーアカウント または APN パートナーアカウントのいずれか)
3. AWS 認定アカウントページ右側の、「PSI試験の管理」ボタンをクリックし、AWS 認定アカウントページに進みます。
4. キャンセルまたは日程変更を希望する予約済み試験の「詳細の表示」ボタンをクリックします。
5. キャンセルの場合：「受験の日程をキャンセルする」ボタンをクリック
日程変更の場合：「日程変更」ボタンをクリック
 - 日程変更/キャンセルは **48 時間前**まで無料、**48 時間前**を過ぎた場合 **6700円**の手数料が発生
 - 24 時間前を過ぎた場合、キャンセル・日程変更はできません。
 - 予約した試験当日に受験しなかった場合、受験料は返金対象になりません。

受験時の注意事項

- 持ち物
 - パスポートなどの**身分証明書**を 2 種類
どちらか 1 つには**本人の写真**が添付されている必要がある
- 秘密保持契約書 (NDA)
 - 認定プログラムの機密と価値を保護するため、AWS 認定プログラムアグリーメントの条件
*(<https://aws.amazon.com/jp/certification/certification-agreement/>)に同意する必要がある
(試験への登録と同時に同意したことになります)
- 試験時間中の途中退出等は、リモートの試験監督とのチャットが必要

試験結果の通知

- 試験結果
 - 試験終了（アンケート入力）後、ただちに画面に表示
- 試験合格後
 - E メールによる合格通知
 - 認定アカウントページからデジタルバッジとロゴデータをダウンロード可能、その他特典が利用可能（特典内容はレベルにより異なる）
- 再受験ポリシー
 - 不合格の場合、14日以上経過後、再受験の申し込みが可能



再認定

- 認定の有効期間
 - **2年**ごとに認定更新（再認定）が必要
 - 認定の有効期限が切れた場合、認定情報は失効（期限6ヶ月前にメール通知）
 - ただし失効後1年以内であれば、再認定試験の受験が可能
- 再認定
 - AWS 認定を受けた方が再認定を受けるには、AWS 認定を受けてから 2 年以内に再認定試験に合格するか、より上位レベルの試験に合格する必要がある。
（例：アソシエイトレベルの再認定は、「アソシエイト再認定試験」の受験か、「プロフェッショナル認定」の取得）
- 再認定試験受験料
 - すべての試験 **8,100円** (税込)
- 再認定試験時間
 - すべての試験 **80分間**

試験内容について

必要な知識と出題範囲の確認

認定種類ごとに、試験の概要、試験ガイド、推奨されるトレーニング等の情報が認定サイトで紹介されています。また、試験に必要な知識および出題範囲は試験ガイドに詳述されています。

リソース

- AWS 認定 >
- AWS 認定ソリューションアーキテクト - アソシエイト >**
- AWS 認定ソリューションアーキテクト - プロフェッショナル >
- AWS 認定デベロッパー - アソシエイト >
- AWS 認定 SysOps アドミニストレーター - アソシエイト >
- AWS 認定 DevOps エンジニア - プロフェッショナル >
- AWS Recertification (再認定) >

Associate (Released February 2018)

これから学習を開始する方は、新試験新バージョンの試験の受験をおすすめします。こちらから、新バージョンの試験ガイドを確認いただけます。試験申し込みの際には、必ず「AWS Certified Solutions Architect - Associate (Released February 2018)」をお選びください。

すでに従来のバージョンの試験ガイドで準備を始めている方は、2018 年 8 月 12 日までは従来のバージョンで試験を受験できます。試験申し込みの際には「AWS 認定ソリューションアーキテクト-アソシエイト (SAA)」をお選びください。

推奨対象者

試験ガイド **ダウンロード**

試験の準備

Architecting on AWS の受講

- Architecting on AWS の受講
- 認定試験準備ワークショップ
- サンプル問題
- 模擬試験

例)
AWS 認定ソリューションアーキテクト - アソシエイト

<https://aws.amazon.com/jp/certification/certified-solutions-architect-associate/>



出題範囲 - 分野

例) ソリューションアーキテクト - アソシエイトの場合

分野	試験に占める割合
1.0 高可用性、コスト効果、耐障害性、スケーラブルなシステムの設計	60 %
2.0 実装 / デプロイ	10 %
3.0 データセキュリティ	20 %
4.0 トラブルシューティング	10 %
合計	100 %

料金の詳細など（値下げなどで）変化があるもの、頻繁に使わない機能について問うもの（知識力を試すもの）などは試験のターゲットになりにくく、実際によく使われる機能や推奨される使い方が問われる傾向です

出題範囲 - 分野詳細

例) ソリューションアーキテクト - アソシエイトの場合

分野 1.0: 高可用性、コスト効率、耐障害性、スケーラブルなシステム的设计

クラウドアーキテクチャで考慮すべき事項 (基本構成要素や効率的な設計) の認識と識別

出題範囲に含まれるもの

- クラウドサービスの設計方法
- 計画と設計
- モニタリングとログ
- 以下のものへの習熟度
 - AWS アーキテクチャのベストプラクティス
 - 価格/コストを含むクライアント要件に応じた開発 (例: オンデマンド/リザーブド/スポットの選択、RTO、RPO DR デザイン)
 - アーキテクチャのトレードオフの決定 (例: 高い可用性とコストのどちらを選ぶか、Amazon Relational Database Service (RDS) と Amazon Elastic Compute Cloud (EC2)への独自データベースのインストールのどちらを選ぶか)
 - ハイブリッド IT アーキテクチャ (例: Direct Connect、Storage Gateway、VPC、ディレクトリサービス)
 - 伸縮自在性とスケーラビリティ (例: Auto Scaling、SQS、ELB、CloudFront)



試験準備

<https://aws.amazon.com/jp/certification/certification-prep/>

認定試験の最善の準備は 実践的な経験

学習に役立つ準備マテリアル
もご用意しています

<https://aws.amazon.com/jp/certification/certification-prep/>

試験準備リソース

[トレーニングと認定](#)[トレーニングの概要](#)[AWS 認定](#)[再認定](#)[パートナートレーニング](#)



AWS 認定

AWS に関する深い知識を実証する上で、当社の役割ベース認定および専門知識認定がいかに役立つかについて説明します

[詳細 »](#)



試験準備リソース

AWS の実務経験を補うトレーニングおよび資料を使用して認定試験に備えます

[リソースを表示 »](#)



認定の利点

実績を示し、AWS の専門知識をあるための特典を活用し

[特典を確認 »](#)

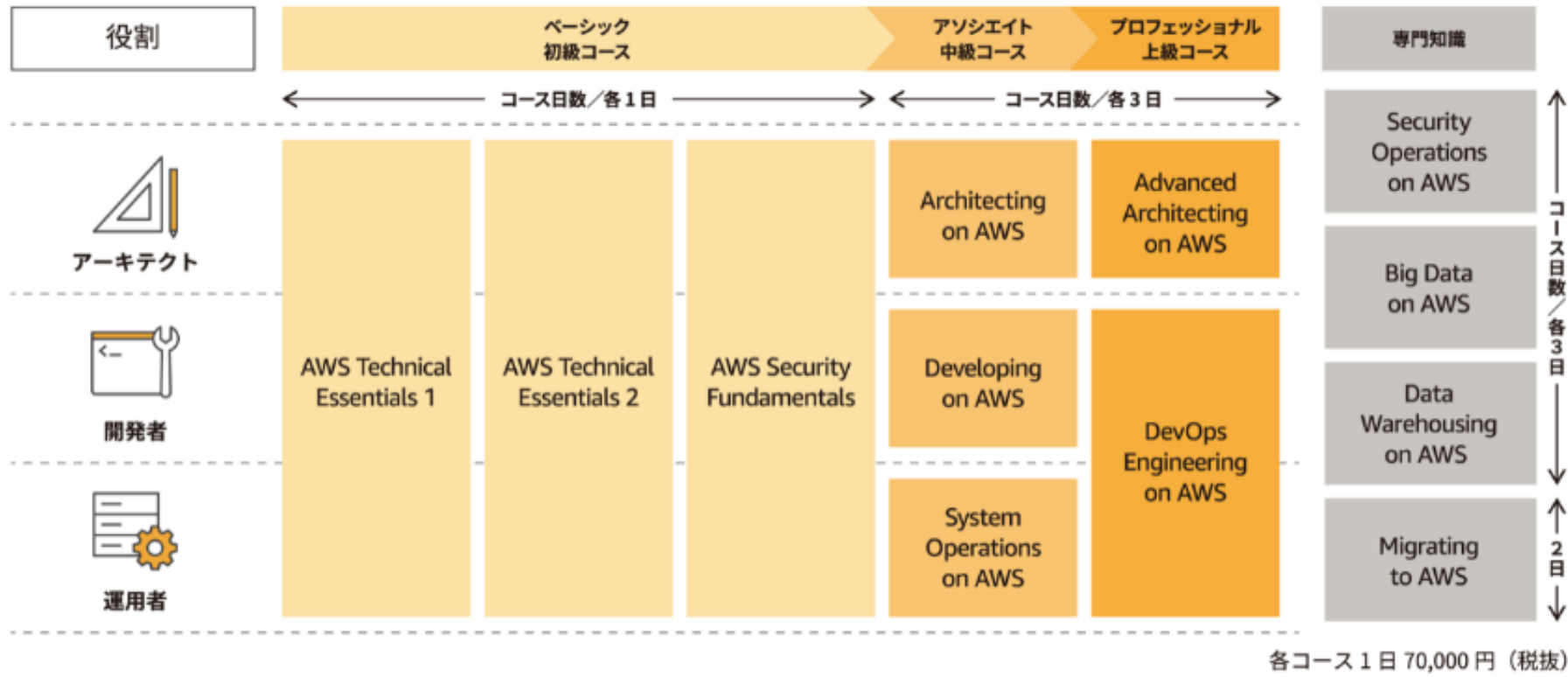
認定取得に必要な試験のための、様々なリソース（トレーニング、ホワイトペーパー等々の紹介）をしております。このサイトからトレーニングの申し込みサイトに進むこともできます。

試験準備 (例)



クラスルームトレーニングは、AWS を使用する
ための技術的スキル向上、ベストプラクティ
スを学習するのに役立ちます

クラスルームトレーニングのメニュー



認定試験に対応するクラスルームトレーニングの例

AWS 認定試験

おすすめの AWS トレーニング

AWS 認定クラウドプラクティショナー

AWS Technical Essentials 1 1日間 70,000円
<https://aws.amazon.com/jp/training/course-descriptions/essentials/>

AWS 認定ソリューションアーキテクト – アソシエイト

Architecting on AWS 3日間 210,000 円
<https://aws.amazon.com/jp/training/course-descriptions/architect/>

AWS 認定ソリューションアーキテクト – プロフェッショナル

Advanced Architecting on AWS 3日間 210,000 円
<https://aws.amazon.com/jp/training/course-descriptions/advanced-architecting/>

AWS 認定デベロッパー – アソシエイト

Developing on AWS 3日間 210,000 円
<https://aws.amazon.com/jp/training/course-descriptions/developing/>

AWS 認定システムオペレーション (SysOps) アドミニストレーター – アソシエイト

System Operations on AWS 3日間 210,000 円
<https://aws.amazon.com/jp/training/course-descriptions/sysops/>

※トレーニング受講は認定取得のための必須要件ではありません。



クラスルームトレーニングで学習できること

トレーニングでは、個々のサービスの紹介のほか、AWS においてシステム構築する際の**ベストプラクティス**を学習します。これらは**試験でも重要なポイント**となります。

AWS におけるシステム構築のベストプラクティス

- スケーラビリティを確保する
- 環境を自動化する
- 使い捨て可能なリソースを使用する
- コンポーネントを疎結合化する
- サーバーではなくサービスで設計する
- 適切なデータベースソリューションを選択する
- 単一障害点をなくす
- コストを最適化する
- キャッシュを使用する
- インフラストラクチャのすべての場所でセキュリティを確保する

試験準備 (例)

1



クラスルーム
トレーニングの受講



2



認定試験ガイド、
サンプル問題の確認

試験で取り上げられる概念、分野について確認できます。試験のサンプル問題は、自分の知識、さらに学習が必要な分野が特定できます

試験準備（例）

1



クラスルーム
トレーニングの受講



2



認定試験ガイド、
サンプル問題の確認



3



QwikLABS - 認定試
験準備クエスト

セルフペースラボを使用して
AWS のサービスとソリューション
を本番環境で練習しましょう

QwikLABS - 認定試験準備クエスト

QwikLABS とは

- qwiklab.com が提供する、標準のブラウザとインターネット環境があれば、どこからでもラボ環境にアクセスすることができる**オンラインの学習環境**。ラボの利用にはクレジットが必要（一部のラボは無料）
- <https://amazon.qwiklabs.com/>

認定試験準備におすすめのラボ

- 認定試験準備クエスト（認定準備におすすめのラボを認定プログラムごとに編成したもの）



Solutions Architect - Associate

9 ラボ / 71 クレジット / 586 11分

EXAM PREP



SA-Associate Exam Prep

This quest is designed to help you get hands-on practice with several key services which are addressed in the [AWS Certified Solutions Architect – Associate exam blueprint](#). Practice fundamental and advanced concepts for working with Amazon EC2, Amazon CloudFront, Amazon EBS, AWS IAM, and Amazon VPC.

ENROLL IN THIS QUEST

試験準備 (例)

認定試験の最善の準備は**実践的な経験**です。その他学習に役立つ準備資料もご用意しています

1



クラスルーム
トレーニングの受講



2



認定試験ガイド、
サンプル問題の確認



3



QwikLABS - 認定試
験準備クエスト



4



AWS ホワイトペー
パーを読む

AWS ホワイトペーパー

ここでは、アーキテクチャ、セキュリティ、エコノミクスなどのトピックを扱った AWS の技術的なホワイトペーパーがすべてリストアップされています。このホワイトペーパーの執筆者は、AWS チーム、独立したアナリスト、または AWS コミュニティ (お客様またはパートナー) です。業界アナリストによって作成されたレポートを読むには、[ここをクリックしてください](#)。このページは、ホワイトペーパーやレポートの作成および更新に合わせて、定期的に更新されます。

<https://aws.amazon.com/jp/whitepapers/>

AWS チーム、独立したアナリスト、AWS パートナーが執筆したホワイトペーパーを読んで、技術的な理解を深めましょう

試験準備（例）

1



クラスルーム
トレーニングの受講



2



認定試験ガイド、
サンプル問題の確認



3



QwikLABS - 認定試
験準備クエスト



4



AWS ホワイトペー
パーを読む



5



AWS FAQ の確認

よくある質問の一覧を参照し
て、一般的な質問と問題に関す
る理解を深めましょう



個々のサービスごとによく聞かれる質
問への回答をまとめたサイト

<https://aws.amazon.com/jp/faqs/>

試験準備 (例)



一部の認定では、認定試験用のワーク
ショップが用意されています

認定試験準備ワークショップの受講

AWS 認定試験準備ワークショップとは

- AWS 認定試験の学習をひととおり完了された方に向けた、試験のポイントを整理するためのワークショップ
- 以下トレーニング受講は認定取得のための必須要件ではありません

認定試験

AWS 認定ソリューションアーキテクト – アソシエイト

AWS 認定 SysOps アドミニストレーター – アソシエイト

AWS 認定ソリューションアーキテクト
– プロフェッショナル

おすすめのワークショップ

AWS 認定試験準備ワークショップ: AWS 認定ソリューション
アーキテクト – アソシエイト 4時間 35,000円
<https://aws.amazon.com/jp/training/course-descriptions/exam-workshop-solutions-architect-associate/>

AWS 認定試験準備ワークショップ: SysOps アドミニストレー
ター – アソシエイト 5時間 35,000円
AWS Summit Tokyo 2018 にて先行公開

AWS 認定試験準備ワークショップ: AWS 認定ソリューション
アーキテクト – プロフェッショナル 1日 70,000円
<https://aws.amazon.com/jp/training/course-descriptions/exam-workshop-solutions-architect-professional/>



試験準備 (例)

1



クラスルーム
トレーニングの受講



2



認定試験ガイド、
サンプル問題の確認



3



QwikLABS - 認定試
験準備クエスト



4



AWS ホワイトペー
パーを読む



5



AWS FAQ の確認



6



認定試験準備ワーク
ショップの受講



7



模擬試験の受験

時間制限のあるオンライ
ン環境で模擬試験が受験
できます

模擬試験の受験

模擬試験とは

- 各試験分野での**理解度を測定する**ために使用（試験問題、解答は入手**できない**）

模擬試験の詳細

- 所要時間
 - プラクティショナー、アソシエイト模擬試験: **30 分間**
 - DevOpsエンジニア- プロフェッショナル模擬試験: **60 分間**
 - ソリューションアーキテクト-プロフェッショナル模擬試験: **90 分間**
- 出題数
 - プラクティショナー、アソシエイト模擬試験およびDevOpsエンジニア-プロフェッショナル模擬試験: **20 問**
 - ソリューションアーキテクト- プロフェッショナル模擬試験: **40 問**
- 受験料
 - プラクティショナー、アソシエイト模擬試験およびDevOpsエンジニア-プロフェッショナル模擬試験: **2,160 円**
 - ソリューションアーキテクト- プロフェッショナル模擬試験: **4,320 円**

模擬試験申し込み先

- <https://www.aws.training/> ※ 通常の認定試験と同じように申し込みます

試験準備 (例)



おすすめのAWS認定

クラウドプラクティショナー – AWSの入門試験

技術者だけでなく、AWSに関わるすべての方の基礎知識

～こんな悩みをお持ちの方へ～

- ✓ 「AWSってどうなの？」にそろそろ答えたい
- ✓ 技術者との会話がよく分からない
- ✓ 請求処理が不安



- AWSのクラウドとはなにか（クラウドコンセプト）
- 主なサービスと一般的なユースケース（テクノロジー）
- セキュリティとコンプライアンスの基礎（セキュリティ）
- 請求、アカウントマネジメント、料金モデル 等々（TCO、プライシング）

<https://aws.amazon.com/jp/certification/certified-cloud-practitioner/>

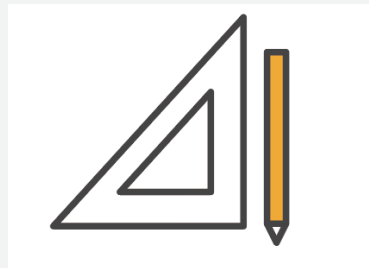
ソリューションアーキテクト – アソシエイト

アプリケーションやシステムの設計者向けの認定

- アーキテクチャ設計原則に従ったソリューション定義
- ベストプラクティスに基づいた実装を行うためのガイダンス提供
- AWS の展開サービスおよび管理サービスに関する実務経験
- AWS のコンピューティングサービス、ストレージサービス、およびデータベースサービスを使用した実務経験
- AWS に関連するネットワーク技術に関する知識 等々

2018年4月より新版試験開始

※従来バージョンの受験は8月12日まで



<https://aws.amazon.com/jp/certification/certified-solutions-architect-associate/>

その他リファレンス

AWS 初心者向け学習リソース

無料オンライン動画とセルフペースラボ

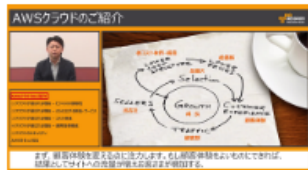
<https://pages.awscloud.com/hajimete-ondemand-jp.html>

<https://aws.amazon.com/jp/blogs/news/on-demand-quotation-handson/>

『はじめてのアマゾン ウェブ サービス』セッション紹介

1 セッション 10～15 分とご視聴しやすいお時間になっておりますので、お気軽にご受講いただけます。

セッションの視聴は右側のフォームからお申し込みください。



Part 1

■ AWS クラウドのご紹介 (10:42)



Part 2

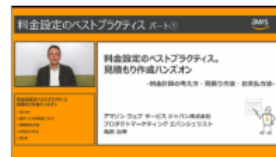
■ クラウドが選ばれる理由 (13:10)

- ・ビジネスの俊敏性
- ・さらに広がる製品・サービス

『AWS 見積もり作成 ハンズオン』セッション紹介

1 セッション 10～25 分とご視聴しやすいお時間になっておりますので、お気軽にご受講いただけます。

セッションの視聴は右側のフォームからお申し込みください。



Part 1

■ 主要サービスの費用についての基本的な考え方 (24:39)



Part 2

■ 概算費用作成における検討事項のまとめとお支払方法 (7:17)



Part 3

■ 練習問題を用いた見積もり作成

AWS ドキュメント

初心者向けの入門ガイドから上級者向けの高度な機能の解説まで

<https://aws.amazon.com/jp/documentation/>

AWS ドキュメント

ユーザーガイド、API リファレンス、チュートリアルなどを見つける

ユーザーガイド

コンピューティング - AWS Batch - Amazon EC2 - Amazon ECR - Amazon ECS - AWS Elastic Beanstalk - AWS Lambda - Amazon Lightsail - AWS Serverless Application Repository - Amazon VPC	開発者用ツール - AWS Cloud9 - AWS CodeBuild - AWS CodeCommit - AWS CodeDeploy - AWS CodePipeline - AWS CodeStar - AWS のツールと SDK - AWS X-Ray 管理ツール - AWS Auto Scaling - AWS CloudFormation - AWS CloudTrail - Amazon CloudWatch - AWS コマンドラインインターフェイス	分析 - Amazon Athena - Amazon CloudSearch - AWS Data Pipeline - Amazon Elasticsearch Service - Amazon EMR - AWS Glue - Amazon Kinesis - Amazon QuickSight - Amazon Redshift セキュリティ、アイデンティティ、コンプライアンス - AWS Artifact - AWS Certificate Manager - AWS CloudHSM - Amazon Cognito	AR およびバーチャルリアリティ - Amazon Sumerian (プレビュー) カスタマーエンゲージメント - Amazon Connect - Amazon Simple Email Service (SES) ゲーム開発 - Amazon GameLift - Amazon Lumberyard (ベータ) SDK およびツールキット .NET 開発者のための AWS ガイド - AWS SDK for C++ - AWS SDK for Go - AWS SDK for Java - AWS SDK for JavaScript
ストレージ - Amazon EBS - Amazon EFS - Amazon Glacier - Amazon S3			

AWS の最新情報

AWS からの最新のお知らせ（全体、カテゴリ別）

<https://aws.amazon.com/jp/new/>

AWS の最新情報

AWS クラウドプラットフォームは日ごとに拡大しています。以下を参照して、AWS の製品、サービス、機能に関する発表をご覧ください。

最新情報

[リリースノートニュースレターのサブスクリプション »](#)

[Alexa、AWS の最新情報は? »](#)

[RSS で購読する »](#)

注目の発表

お知らせ動画

最近行われた AWS の新製品発表の動画を見る

4月9日

AWS は新しいサービスと機能を速いペースでリリースし続けています。最近行われた AWS での新製品発表の概要を扱ったこの短い動画で最新情報をチェックしてください。

機械学習

AWS Deep Learning AMI に、最適化された TensorFlow 1.7 が追加される

4月10日

Ubuntu および Amazon Linux 用の AWS Deep Learning AMI に、TensorFlow 1.7 の高度な最適化機能が搭載され、Amazon EC2

アプリケーションの統合

AWS AppSync の一般提供開始

4月13日

AWS AppSync が一般公開されました (GA)。このリリースでは、開発を加速する新しい機能もいくつか導入されています。AWS AppSync は、リアルタイムデータとオフラインでのプログラミングの機能を備えた、エ

Blog

最新情報、製品機能の紹介、イベントのアナウンスなど

- AWS Blog (JP) <https://aws.amazon.com/jp/blogs/news/>
- AWS Solution Architect ブログ (JP) <http://aws.typepad.com/sajp/>
- AWS Partner SA ブログ (JP) http://aws.typepad.com/aws_partner_sa/

Amazon Web Services ブログ

Amazon Sumerian – GAのお知らせ

by Localization Team | on 17 MAY 2018 | in News | Permalink | [Share](#)

当社は AWS re:Invent 2017 で Amazon Sumerian を発表しました。Tara のブログ記事 (Amazon Sumerian: VR、AR、3D 体験を作成する簡単な方法の紹介) Sumerian は特別なプログラミングや 3D グラフィックスの専門知識を必要としません。モバイルデバイス、ヘッドマウントディスプレイ、デジタルサイネージ、一般的なハードウェアプラットフォームで、VR、AR、3D 体験を構築できます。

Sumerian が一般提供されたことをお知らせします。3D モデリング、アニメーション、照明、オーディオ編集、プログラミングのための特別なツールを購入したアルな仮想環境とシーンを作成できます。ビルド後はカスタムコードを記述したり、特殊なデプロイシステムやプロセスを処理することなく、完成した作品を複数プロイできます。

Sumerian はウェブベースのエディタを提供し、これを使用してリアルでプロフェッショナル品質のシーンをすばやく簡単に作成できます。オブジェクトやキャラ Hosts) がユーザー操作に反応する方法を制御するロジックを構築するためのビジュアルスクリプティングツールがあります。Sumerian は、Amazon Lex、Polly IoT、Amazon DynamoDB などの AWS によるリッチで自然な対話を作成することもできます。



AWS サポート – ナレッジセンター

AWS サポートに対する利用
中のお客様からのよくある
ご質問やご要望

<https://aws.amazon.com/jp/premiumsupport/knowledge-center/>

ナレッジセンター

ここでは、AWS をご利用のお客様からのよくあるご質問やご要望をご紹介します。お探しの情報がここにはない場合は、AWS ドキュメントや AWS ディスカッションフォーラムをチェックするか、AWS サポートセンターにアクセスしてください。

Amazon EC2
Amazon ECS
Amazon VPC
Auto Scaling
Elastic Load Balancing
Amazon EBS
Amazon Route 53
Identity and Access Management (IAM)
Amazon S3
Amazon Athena
Amazon Glacier
Amazon SES
Amazon CloudWatch
AWS Directory Service
AWS Direct Connect
AWS CodeDeploy
Amazon ElastiCache
AWS Educate
AWS Snowball
Amazon SNS

AWS Elastic Beanstalk
Amazon DynamoDB
Amazon RDS
AWS Database Migration Service (DMS)
Amazon Redshift
Amazon EMR
Amazon Elasticsearch
AWS CloudFormation
AWS Storage Gateway
AWS OpsWorks
Amazon CloudFront
AWS KMS
AWS Lambda
AWS Organizations
アカウントと請求の管理
リソース管理
AWS Certificate Manager
Amazon WorkSpaces
Amazon Lightsail
ベストプラクティス

主なビデオ



ロードバランサーの背後にあるアプリケーションの耐障害性を改善するために Auto Scaling を使用する方法を教えてください。



EC2 Windows インスタンスで一般的な問題をトラブルシューティングし、修正するために EC2 Rescue を使用する方法を教えてください。



WorkSpace の実行モードを変更するにはどうすればよいですか？



セミナー

国内のクラウドセミナー・イベントスケジュール、申し込みリンク

<https://aws.amazon.com/jp/about-aws/events/>

オンラインセミナースケジュール、申し込みリンク

<https://aws.amazon.com/jp/about-aws/events/webinars/>



AWS

Black Belt

Online Seminar

セミナー過去資料 - AWS クラウドサービス活用資料集

セミナー資料、オンデマンドセミナー動画へのリンク集

<https://aws.amazon.com/jp/aws-jp-introduction/>



サービス別資料

コンピューティング ストレージ & コンテンツ配信 データベース ネットワーキング
開発者用ツール 管理ツール セキュリティ & アイデンティティ 分析
IoT ゲーム開発 モバイルサービス アプリケーションサービス エンタープライズアプリケーション
その他

コンピューティング

Amazon EC2	[Amazon EC2]	Slideshare	PDF	オンデマンドセミナー
	[Amazon EC2] Windows	Slideshare	PDF	オンデマンドセミナー
	[Amazon EC2] HPC	Slideshare	PDF	オンデマンドセミナー
	[Amazon EC2] リザーブドインスタンス	Slideshare	PDF	オンデマンドセミナー
	[Amazon EC2] スポットインスタンス	Slideshare	PDF	オンデマンドセミナー
	[Amazon EC2] Instance Store & Elastic Block Store	Slideshare	PDF	
	[Amazon EC2] VMImport/Export	Slideshare	PDF	
Elastic Load Balancing (ELB)	[Elastic Load Balancing]	Slideshare	PDF	オンデマンドセミナー
	[Elastic Load Balancing] ロードバランサと Socket 接続を使用したイベント通知サーバの負荷分散	Slideshare	PDF	
	[Elastic Load Balancing] ELBを評価するためのベストプラクティス		PDF	



Q&A

AWSトレーニング、認定プログラム関連のお問い合わせ

AWS提供トレーニング、パートナー様向けトレーニング、認定プログラム、資格試験については、以下のリンクよりお気軽にご相談ください

https://aws.amazon.com/jp/contact-us/aws-training/?src=aws_training_faqs

AWS トレーニングと認定によるこそ

AWS のエキスパートから学び、スキルと知識を向上させ、AWS クラウドをキャリアに活用してください。

AWS では、AWS クラウドでインフラストラクチャとアプリケーションを設計、デプロイ、運用するためのスキルを高めるトレーニングプログラムを提供しています。

[トレーニングと認定](#)[トレーニングの概要](#)[AWS 認定](#)[コースフロー](#)[パートナートレーニング](#)[よくある質問](#)



デジタルトレーニング

自分のペースで AWS エキスパートが作成したコースを学習する

[デジタルトレーニングを閲覧 >](#)



クラスルームトレーニング

お近くで開催されるクラスを検索し、認定された AWS インストラクターから学ぶ

[クラスルームトレーニングの詳細 >](#)



AWS 認定

業界が認める認定によって専門知識がある

[AWS 認定を調べる >](#)

お問い合わせ

[AWS トレーニングおよび認定チーム](#) >

[関連リンク](#)

[AWS トレーニング](#)

[AWS トレーニングに関するよくある質問](#)

[AWS 認定のよくある質問](#)

[APN パートナー? お問い合わせ](#)

[フォーラム](#)

AWS トレーニングおよび認定チーム

質問または出張講習のリクエストのため、AWS トレーニングと認定にご連絡いただく場合は、このフォームをご利用ください。

トレーニングと認定についてのよくある質問では、一般的な質問が幅広く扱われています。トレーニングに関するよくある質問 ([こちら](#)) と認定に関するよくある質問 ([こちら](#)) を確認してください。APN パートナーの場合、[APN ポータル](#)にログインしてプロフィールを更新するか、パートナートレーニングについての質問を APN チームにお寄せください。

ご送信いただいてから 1~2 営業日以内に返信いたします。

アスタリスク (*) は入力必須の項目を示しています。

姓*

名*

職種 *

選択

E メールアドレス*

電話*

AWSの導入、お問い合わせのご相談

AWSクラウド導入に関するご質問、お見積、資料請求をご希望のお客様は以下のリンクよりお気軽にご相談下さい。

<https://aws.amazon.com/jp/contact-us/aws-sales/>

お問い合わせ

日本担当チームへのお問い合わせ >

関連リンク

フォーラム

日本担当チームへのお問い合わせ

AWS クラウド導入に関するご質問、お見積り、資料請求をご希望のお客様は、以下のフォームよりお気軽にご相談ください。平日営業時間内に日本オフィス担当者よりご連絡させていただきます。

※ご請求金額またはアカウントに関する質問は[こちらからお問い合わせください](#)。
※Amazon.com または Kindle のサポートに問い合わせは[こちらからお問い合わせください](#)。

アスタリスク（*）は必須情報となります。

姓*

名*

※「AWS お問い合わせ」で検索して下さい。

ご参加ありがとうございました